

2023年度薬学部「実務経験のある教員等による授業科目」

科目名	担当教員名	配当学年	開講期	必修 選択	講義 演習 実習	単位数	実務経験のある教員による授業科目
医療人	光本 泰秀、宇佐見 則行、石川 和宏	1	2023年度 前期	必修	講義・演習	1.5	石川和宏、佐々木敏之、小林星太、西上 潤、三ツ間泰弘、高橋喜統:薬剤師業務に携わった経験を持つ教員が、薬剤師の社会的役割、各領域における業務内容等に関する基本的知識を講義する。松田琴美、堀 有行、辻 裕之、谷内裕美子、竹下欣吾、中川明彦:大学病院において現役で活躍している医師、看護師、栄養士が、医療人としての各々の使命、多職種連携の意義とその実践について講義する。
看護学	石川 倫子、桜井 正美、桜井 志保美、松本 智里、今方 裕子、田村 幸恵、寺井 梨恵子、中田 弘子、紺家 千津子	2	2023年度 後期	選択	講義	1.5	看護師資格を有する教員(石川、紺家、松本、桜井、寺井、田村、今方)が医療施設および保健・介護福祉施設等での実務経験に基づき、看護師の本来的な役割と看護の基盤となる理論、現代の看護の特徴および機能と倫理的な課題に関して講義する。
薬事関連法規 I	大柳 賀津夫	3	2023年度 後期	必修	講義・演習	1.5	1.教員名:大柳 賀津夫 2.授業内容:薬局薬剤師業務に携わった経験を持つ教員が、社会保障や医療保険制度、調剤報酬などについて講義や演習を行う。 3.授業形態:講義、演習
人間学Ⅱ(心理)	石川 和宏、河野 俊寛	4	2023年度 前期	必修	講義・演習	1	河野俊寛:公認心理師として、大学での学生相談、小中学校・高等学校での教育相談、保護者からの相談への対応実績のある教員が、具体例を示しながら講義する。
薬物治療学Ⅱ(臓器別疾患)	岡田 守弘	4	2023年度 前期	必修	講義	1	1.実務経験のある教員:岡田守弘(病院薬剤師としての実務経験を有する教員)2.授業内容:医療現場を想定しながら実践に即した各疾患の薬物治療を解説する 3.授業形態:講義
薬物治療学Ⅲ(臓器別疾患)	高野 克彦	4	2023年度 前期	必修	講義	1	担当:高野 克彦(病院薬剤師としての実務経験を有する)精神・神経疾患、眼疾患の薬物治療に関する講義を行う。
薬物治療学Ⅳ(免疫と悪性腫瘍)	野村 政明、石川 和宏	4	2023年度 後期	必修	講義	1	薬物治療における医薬品の適正使用や現状を、実務経験を踏まえて説明する。(講義:野村 政明、石川 和宏)
薬局薬品学	大柳 賀津夫、坂野 由宇希	4	2023年度 後期	選択	講義	1	1.教員名:大柳 賀津夫、坂野 由宇希 2.授業内容:薬局薬剤師業務に携わった経験を持つ教員が、保険調剤業務、セルフメディケーションや地域医療・地域保健などについて、経験を活かした授業を行う。 3.授業形態:講義
薬局経営学	大柳 賀津夫、坂野 由宇希	4	2023年度 後期	選択	講義	1	1.教員名:大柳 賀津夫、坂野 由宇希 2.授業内容:薬局薬剤師業務に携わった経験を持つ教員が、薬局の管理や経営、調剤報酬算定などについて、経験を活かした授業を行う。 3.授業形態:講義
薬剤師倫理	大本 まさのり、關谷 暁子、野村 政明、金澤 佑治	4	2023年度 前期	必修	演習・講義	1	1. 担当教員:実務経験を有する教員は、大本 まさのり(薬局薬剤師)、野村 政明(病院薬剤師)、關谷 暁子(臨床検査技師)、金澤 佑治(理学療法士)であり、現役の病院薬剤師および医師、看護師としての実務経験を有する他大学の教員もゲストスピーカーとして講義に加わる。 2. 授業内容:授業の担当者は、医療従事者もしくはその経験のある教員で構成する。病院・薬局の臨床や在宅医療の現場で授業担当者が経験した事例を課題とし、グループで倫理的問題を討議する。また、大学病院での治験・臨床研究に精通された薬剤師が講義する。 3. 授業形態:講義・演習
薬理・薬物治療Ⅷ	野村 政明	4	2023年度 前期	必修	講義	1.5	薬物治療における医薬品の適正使用について、現状を踏まえて説明する。(講義:野村政明)
臨床薬学Ⅲ	岡田 守弘、興村 桂子、佐藤 栄子、大本 まさのり、杉山 朋美、高野 克彦、岡本 晃典、石川 和宏、大柳 賀津夫、多賀 允俊、坂野 由宇希	4	2023年度 後期	必修	演習	1	1.岡田守弘、石川和宏、高野克彦(病院薬剤師としての実務経験を有する教員)、大本まさのり、大柳 賀津夫(保険薬局薬剤師としての実務経験を有する教員)、多賀允俊(病院薬剤部に勤務するみなし教員)、坂野由宇希(保険薬局に勤務するみなし教員)、学外講師(病院薬剤師・保険薬局薬剤師) 2.授業内容:病院並びに保険薬局で調剤業務・製剤業務・DI業務・薬剤管理指導業務・治験管理業務・医療安全業務、在宅医療等の実務に携わっている薬剤師(みなし教員・学外講師)が自験例を呈示し、病態・薬物治療に関連した問題提起を行う。また、受講者が作成した制作物に対して実臨床での経験を踏まえて解説する。
調剤学	岡田 守弘、高野 克彦、石川 和宏、大柳 賀津夫	4	2023年度 前期	必修	講義	1.5	1.実務経験のある教員:岡田 守弘、石川 和宏、高野 克彦(病院薬剤師としての実務経験を有する教員)、大柳 賀津夫(保険薬局薬剤師としての実務経験を有する教員) 2.授業内容:実際の臨床場面を想定しながら実践に即した調剤学に関する専門知識を解説する
実務実習事前学習 I	大柳 賀津夫、興村 桂子、佐藤 栄子、野村 政明、大本 まさのり、杉山 朋美、高野 克彦、岡本 晃典、石川 和宏、岡田 守弘、政氏 藤玄、多賀 允俊、坂野 由宇希、小林 星太	4	2023年度 前期	必修	実習・演習	3.5	1. 担当教員:実務経験を有する教員は、大柳賀津夫(薬局薬剤師)、石川和宏(病院薬剤師)、大本まさのり(薬局薬剤師)、野村政明(病院薬剤師)、岡田守弘(病院薬剤師)、高野克彦(病院薬剤師)の6名で、政氏藤玄(病院薬剤師)、多賀允俊(病院薬剤師)、坂野由宇希(薬局薬剤師)、小林星太(薬局薬剤師)、宮東利恵(病院薬剤師)の5名が現役薬剤師の立場で担当する。 2. 授業内容:実務家(臨床系)教員が中心となり、病院・薬局での薬剤師業務の経験を取り入れた授業を実施する。また、日常的に臨床業務に携わっている現役薬剤師も学外講師として一部の授業を担当する。 3. 授業形態:実習・演習
					合計	19	